

オープンソースカンファレンス2010
Kansai@Kyoto

いまさらきけないHTML5

2010年7月10日
W3C/Keio
深見嘉明



- そもそも、W3Cって？
- もともと、HTMLって？
- XHTMLとセマンティック
- なぜ、今バージョンアップ
- いつ使える？どんな環境で使える？
- ウェブの未来を創っているのは？

そもそも、W3Cって？



そもそも、W3Cって？

World

Wide

Web

Consortium



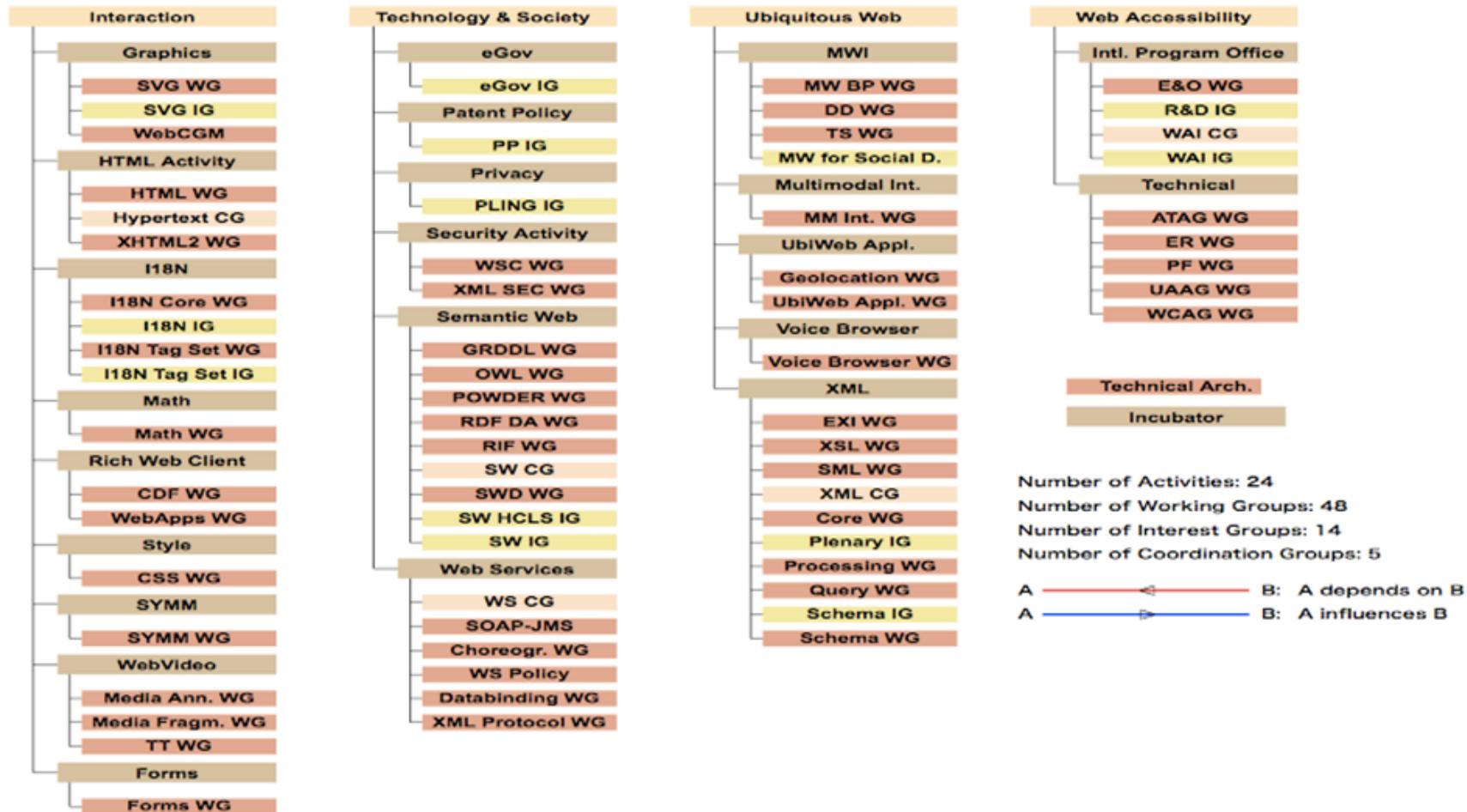
コンソーシアムって？

- デジュール標準
 - 政府や国際団体などによって制定される標準規格
 - ISO, JISなど
- デファクト標準
 - 自由市場において高い占有率（シェア）を獲得したために、その規格が標準となったもの。政府の介入や、企業同士の合意によらない、あくまでも市場原理で確立される
 - Windowsなど
- コンソーシアム標準（デファクト標準の一種）
 - 関係する企業が合同で規格を策定し、それを標準としたもの
 - W3C標準

W3Cとはこんな団体です

- 世界中の企業・研究機関・団体によって構成される、ウェブ標準規格を策定する団体
- 加入企業・研究機関・団体の数は300以上。
 - <http://www.w3.org/Consortium/Member/List>
- 加入企業・団体から参加するエンジニアによって議論が進められ、標準規格が策定される。
- 今この瞬間も、電話会議で、メールで、仕様に関する議論が進められています。

W3Cが開発している規格とは？



70を超えるのWG (Working Group) で、幅広い分野の規格を策定

もともと、HTMLって？

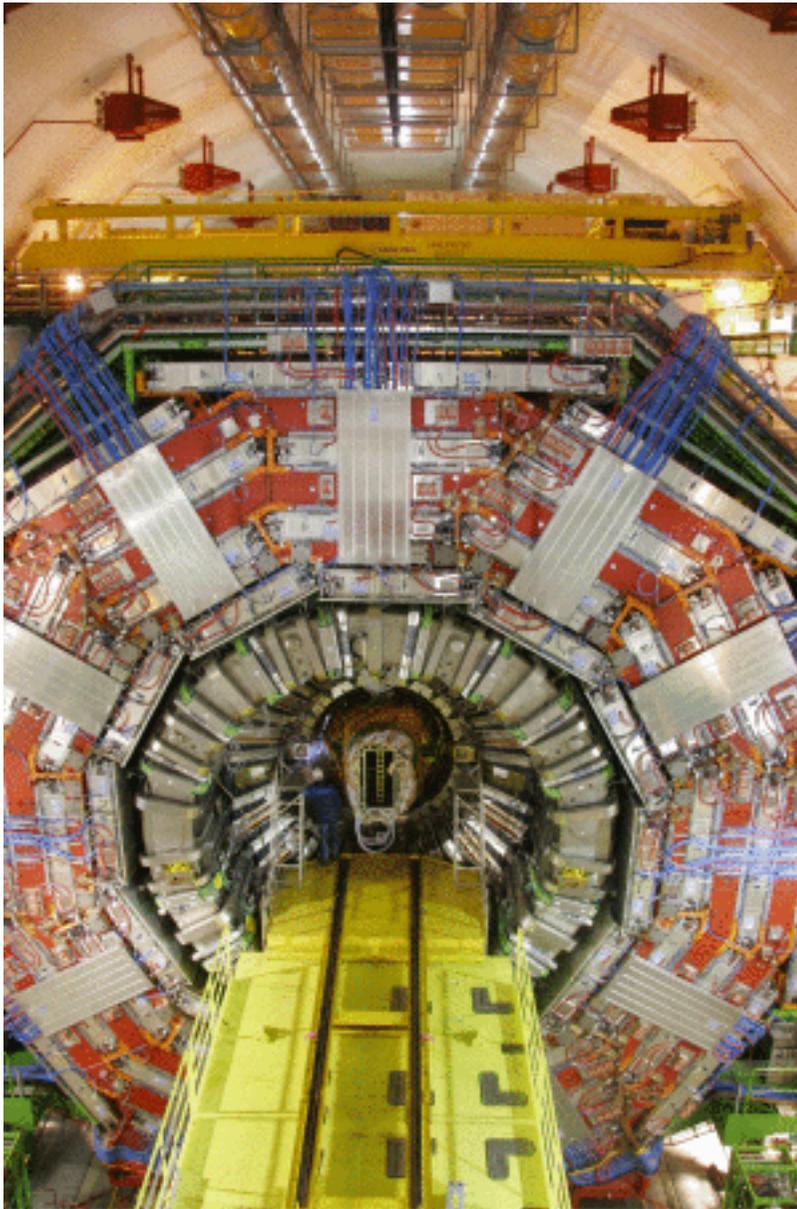


copyright by Silvio Tanaka: <http://www.flickr.com/photos/tanaka/3212373419/>

Sir Tim Berners-Lee, Director of W3C

World Wide Web Consortium. Keio Research Institute at SFC

1990年



CERN

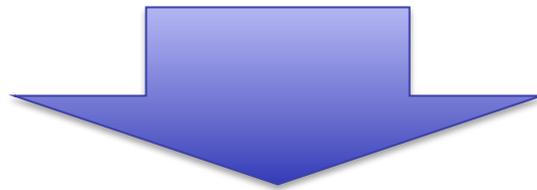
World Wide Web Consortium. Keio Research Institute at SFC



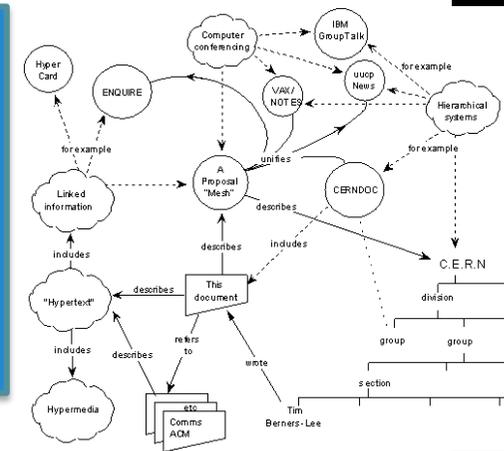
World Wide Web Consortium. Keio Research Institute at SFC

Web誕生秘話

- 広大な土地に分散する研究員
- 誰かが自分が必要な知識をもっているはず。でもどこにいるかすらわからない。



各自の研究成果＝論文などを、簡単に共有・閲覧するしくみとしてウェブは誕生



- ドキュメントの共有
- **Web of Document**

XHTMLとセマンティックウェブ

HTML

XHTML™

- HTML
(Hyper Text Markup Language)
 - ハイパーリンクを埋めこむことのできるドキュメントを作成するための言語



Human Readable Content

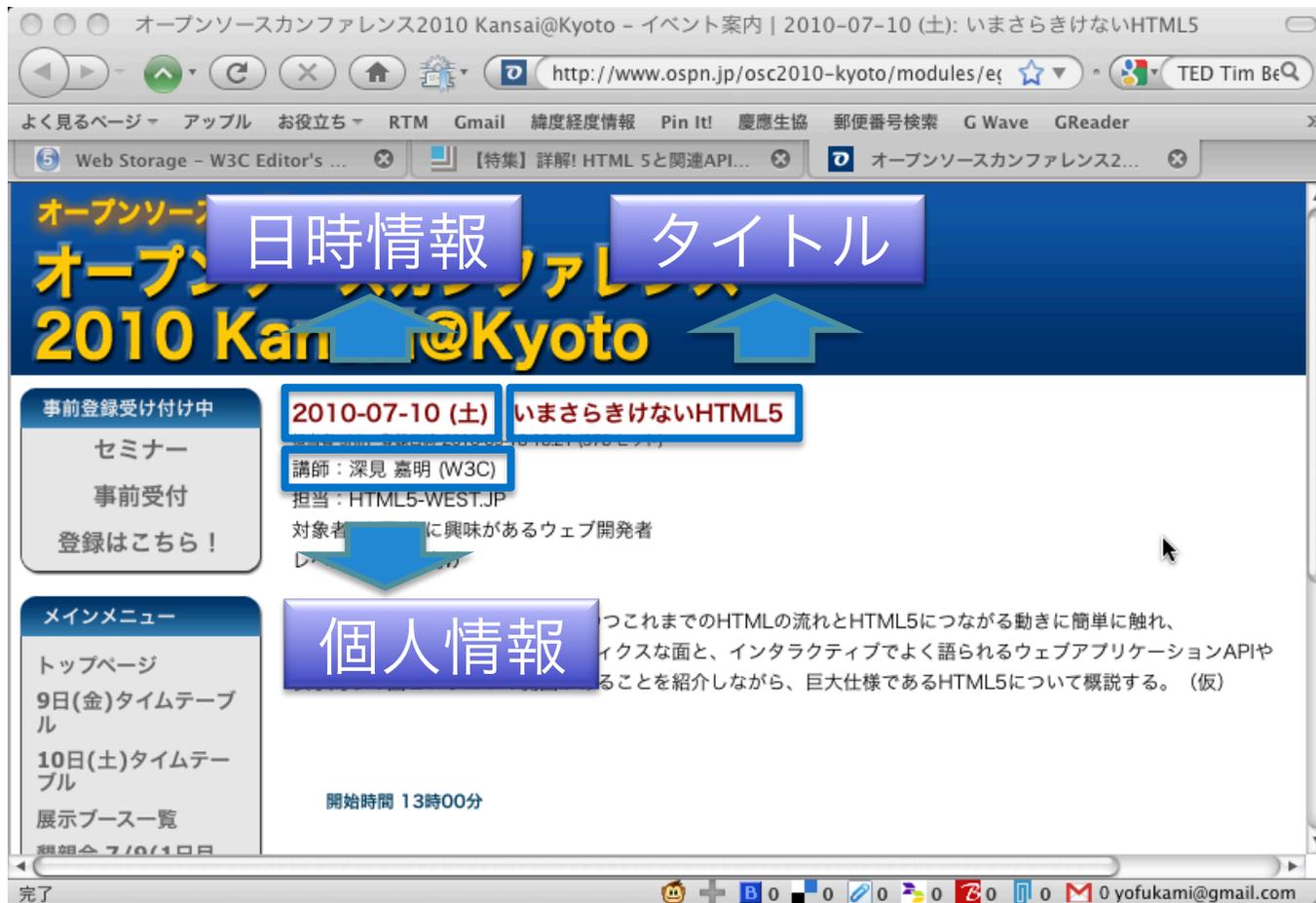
- XHTML
 - (eXtensive Hyper Text Markup Language)
 - XMLに適合させたHTML
 - つまり、機械処理可能なデータ構造を保持したHTML



Human + Machine
Readable Content

XHTMLの開発を通じた狙い

- HTMLをXMLに適合させることにより、人間が読むドキュメントをそのまま機械処理できるようにしようとした。



最近よく聞く「セマンティック」って何？

- セマンティック

- 意味論

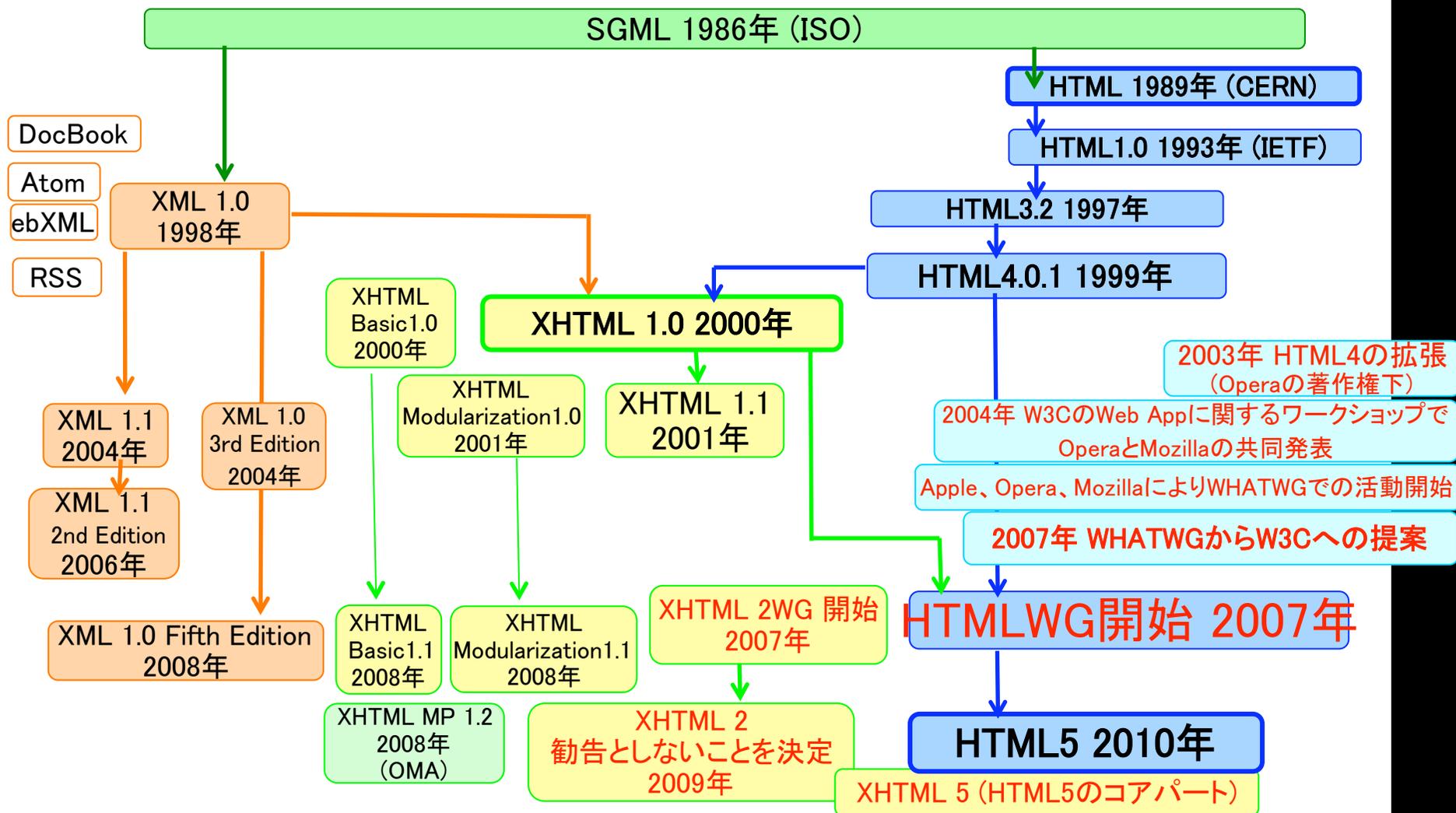
- (計算機が) 意味解釈できる
データで構成されたコンテンツ

- **Web of Document**



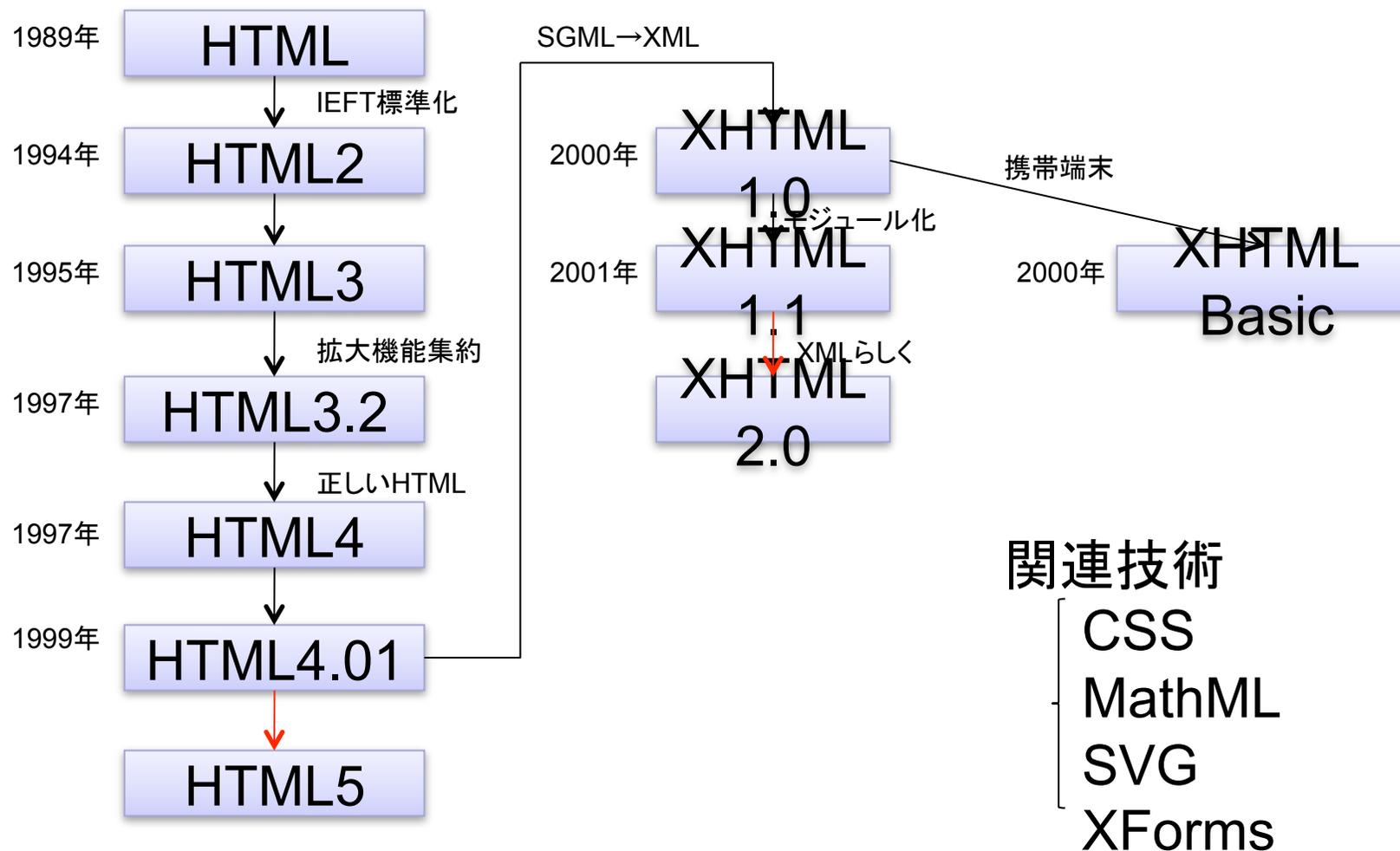
- **Web of Data**

HTMLの歴史



ほぼ10年ぶりのバージョンアップ！

HTMLからXHTMLへ



Web of Dataのデメリット

- コンテンツ＝データ
- データ＝機械処理の対象
- 記述に厳密さが求められる



- 普及の足かせに

なぜ、今バージョンアップ

- **Web of Document**



- **Web of Data**



ウェブの果たす機能の変化

- ウェブメール
- ブログ
- SNS
- ワードプロセッサ
- 表計算
- プレゼンテーション
- and more

今起きていること

ドキュメント共有プラットフォーム



アプリケーションプラットフォーム

この変化に標準規格も
対応しなければならない

- **Web of Document**



**Web as an
Application
Platform**

- **Web of Data**

HTML5（と関連規格）のもつ2つの意味

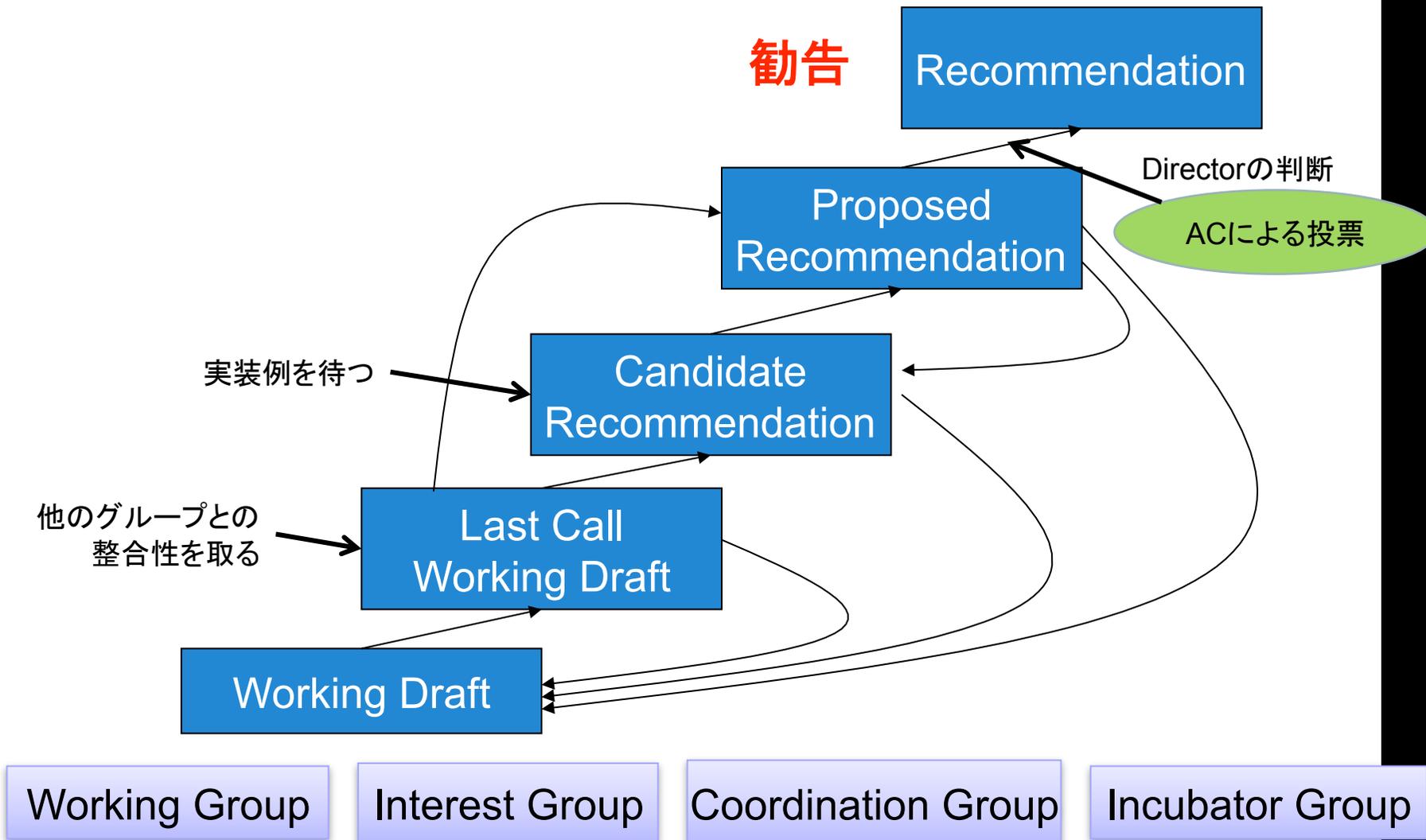
- アプリケーションプラットフォームとしてのウェブに対応
 - 様々なAPI仕様
 - Web Storage
 - Web Workers
 - Web Sockets
 - canvas
 - Drag and Drop API
- Web of Data実現のためのデータ記述仕様を提唱
 - XHTMLの後継としての側面
 - タグのもつセマンティクス機能強化
 - Microdata・RDFa

いつ使える？どんな環境で使える？

フルスペックの
HTML5が
使える環境は
ありません

なぜなら
HTML5は
現在策定中の
規格だから

W3Cの標準化プロセス



Recommendation

A W3C Recommendation is a specification or set of guidelines that, after extensive consensus-building, has received the endorsement of W3C Members and the Director. W3C recommends the wide deployment of its Recommendations.

2010年6月24日

W3C Working Draft

W3C

HTML5

A vocabulary and associated APIs for HTML and XHTML

W3C Working Draft 24 June 2010

This Version:
<http://www.w3.org/TR/2010/WD-html5-20100624/>

Latest Published Version:
<http://www.w3.org/TR/html5/>

Latest Editor's Draft:
<http://dev.w3.org/html5/spec/Overview.html>

Previous Versions:
<http://www.w3.org/TR/2010/WD-html5-20100304/>
<http://www.w3.org/TR/2009/WD-html5-20090825/>
<http://www.w3.org/TR/2009/WD-html5-20090423/>
<http://www.w3.org/TR/2009/WD-html5-20090212/>
<http://www.w3.org/TR/2008/WD-html5-20080610/>
<http://www.w3.org/TR/2008/WD-html5-20080122/>

Editors:
[Ian Hickson](#), Google, Inc.

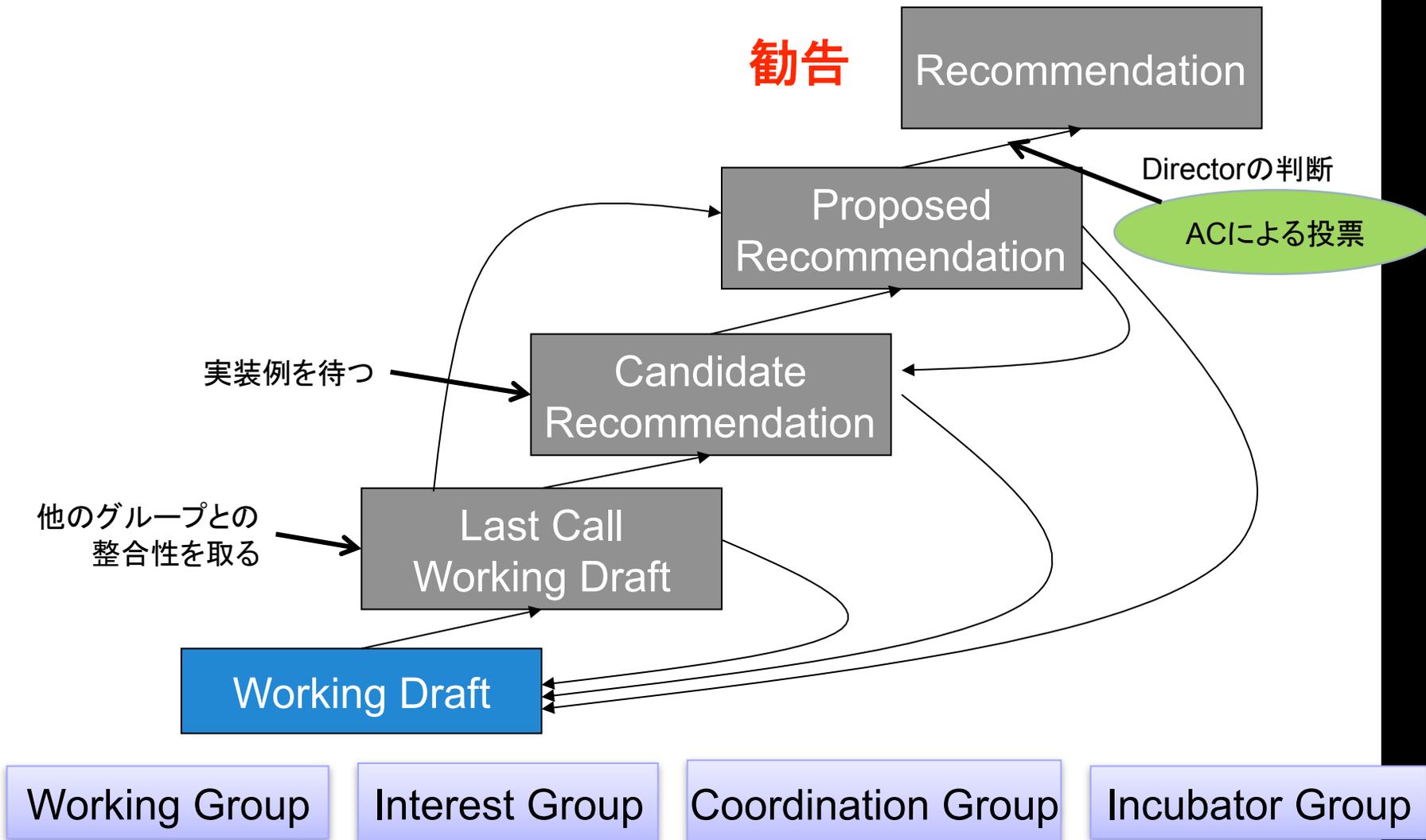
This specification is available in the following formats: [single page HTML](#), [multipage HTML](#), [author edition](#).
This is revision 1.4104.

Copyright © 2010 W3C[®] (MIT, ERCIM, Keio). All Rights Reserved. W3C [liability](#), [trademark](#) and [document use](#) rules apply.
The bulk of the text of this specification is also available in the WHATWG [Web Applications 1.0](#) specification, under a license that permits reuse of the specification text.

完了

62 569 1 1 1 0 0 yofukami@gmail.com

W3Cの標準化プロセス



だからといって

- W3C ≠ デジタル標準
- 実装主義



- ✓ 各社の採用・実装を
コントロールしていない
- ✓ 実装が進んではじめて
標準にいきつく

積極的に仕様を
使ってください。
それこそが、
標準化プロセス・実装
を加速させます。

ウェブの未来を創っているのは？

W3C[®] WORLD WIDE WEB
c o n s o r t i u m

W3Cとはこんな団体です

- 世界中の企業・研究機関・団体によって構成される、ウェブ標準規格を策定する団体
- 加入企業・研究機関・団体の数は300以上。
 - <http://www.w3.org/Consortium/Member/List>
- 加入企業・団体から参加するエンジニアによって議論が進められ、標準規格が策定される。
- 今この瞬間も、電話会議で、メールで、仕様に関する議論が進められています。

ウェブの未来を
創っているのは、
ひとりひとりの
エンジニアであり、
標準化プロセスに
参加する企業・組織です。

W3Cは

仕様をつくる

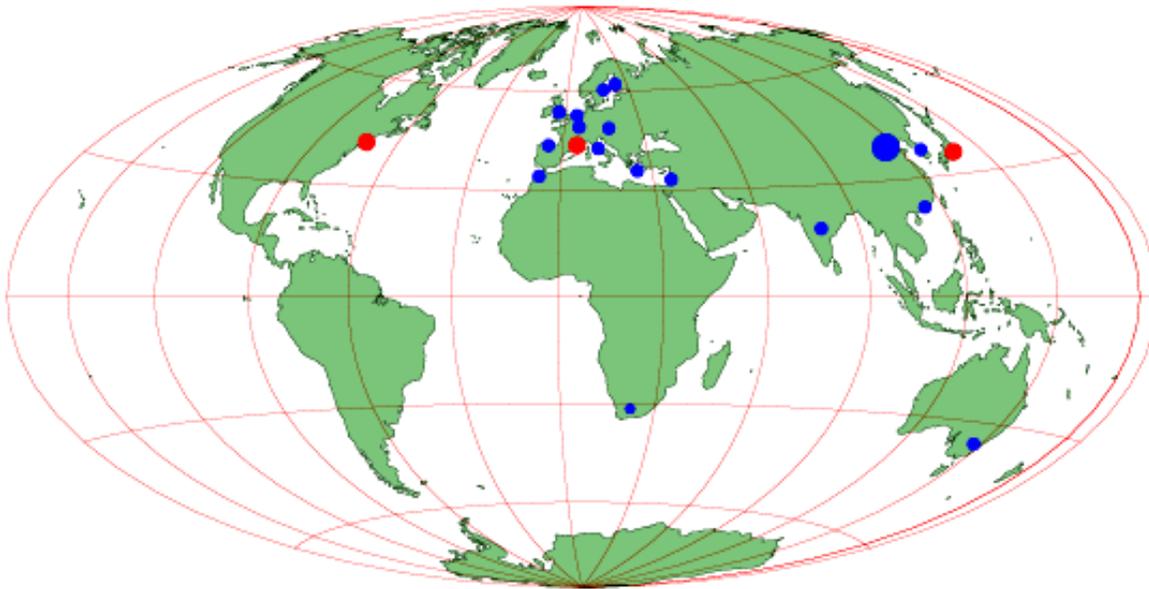
舞台です。



その舞台は
海の向こうに
あるわけでは
ありません。

世界中にあるW3Cオフィス

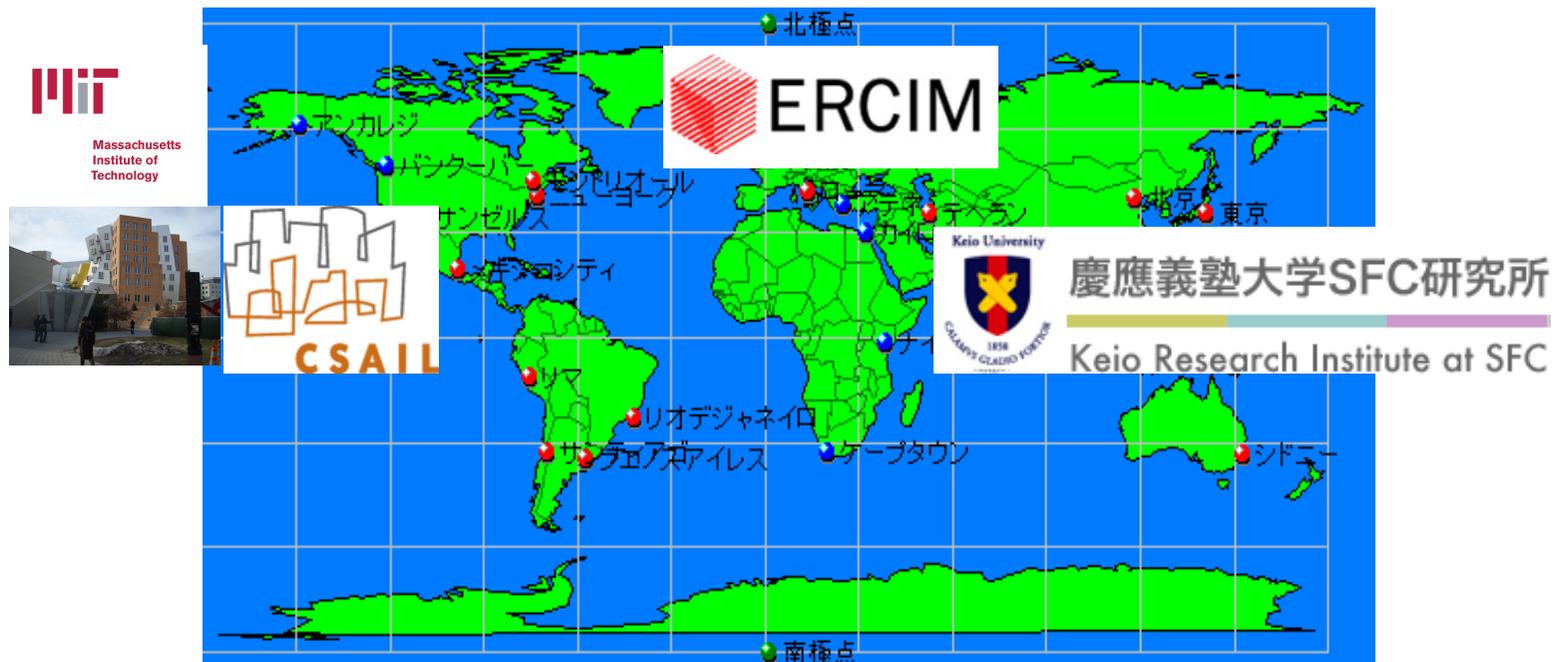
- 17ヶ国にW3Cオフィスを設置
 - 技術スタッフは置かない
 - 各国でのプロモーション活動



オーストラリア
ベネルックス
中国
フィンランド
ドイツおよびオーストリア
ギリシャ
香港
ハンガリー
インド
イスラエル
イタリア
韓国
モロッコ
南アフリカ
スペイン
スウェーデン
英国およびアイルランド

日本は大きな役割を果たしています

- ホストは世界に3つ。
そのうち1つが日本に設置。
 - MIT CSAIL (当時はLCS)
 - ERCIM (当時はINRIA)
 - 慶應義塾大学SFC研究所 (湘南藤沢キャンパス内)



すぐそばで
進んでいる
ウェブの未来を
創る活動

あなたも
ぜひ参加
してください

ウェブ標準化活動への参加方法

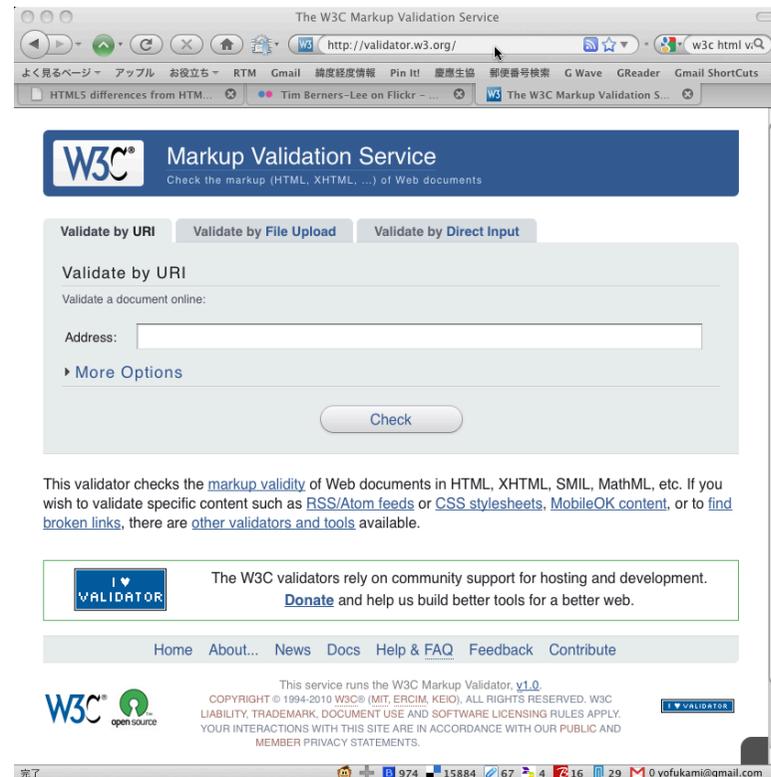
1. 会員としてW3Cに参加する
 1. Working Groupへの参加によって、仕様にご自身の技術や意見を盛り込む
 2. 会議(電話・F2F)、メーリングリスト等の議論やデータにアクセス可能。
→いち早く詳細な情報入手して、最新の仕様を実装可能
2. Interest Groupへ参加する
 1. 会員企業・団体に属していない個人でも参加可能。
 2. 日本語で議論するJAIG (Japanese Interest Group)もあります。
 3. 日本の実態に即した仕様に関する意見を、発信することが可能です。
3. 標準仕様を積極的に実装する

参加への入り口はこちら

- Japanese Interest Groupは2つの分野で設けられています。
 - HTML5 Japanese Interest Group:
<http://www.w3.org/html/ig/jp/Overview.ja.html>
 - SVG IG Japan:
<http://www.w3.org/Graphics/SVG/IG/wiki/Japan>
- 最新の標準仕様はこちらに公開：
<http://www.w3.org/standards/>
- 会場内W3Cブースにも、情報が盛りだくさん。ぜひいらしてください。

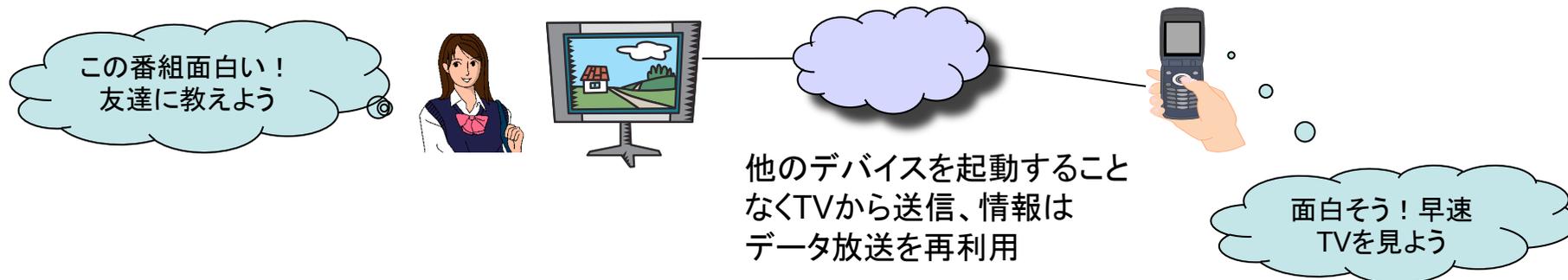
Validator

- 表示されるのと、計算機的に正しく扱われるのとは別
 - 正しい使い方をしないと、仕様に込められた能力をフルに発揮することはできません
 - サイトのもつポテンシャルをフルに発揮させるため、Validatorなどのチェックツールをぜひ使ってください。
 - <http://validator.w3.org/>



HTML 5 利用環境が新たなデバイスに広がったら・・・ Web on TVの例

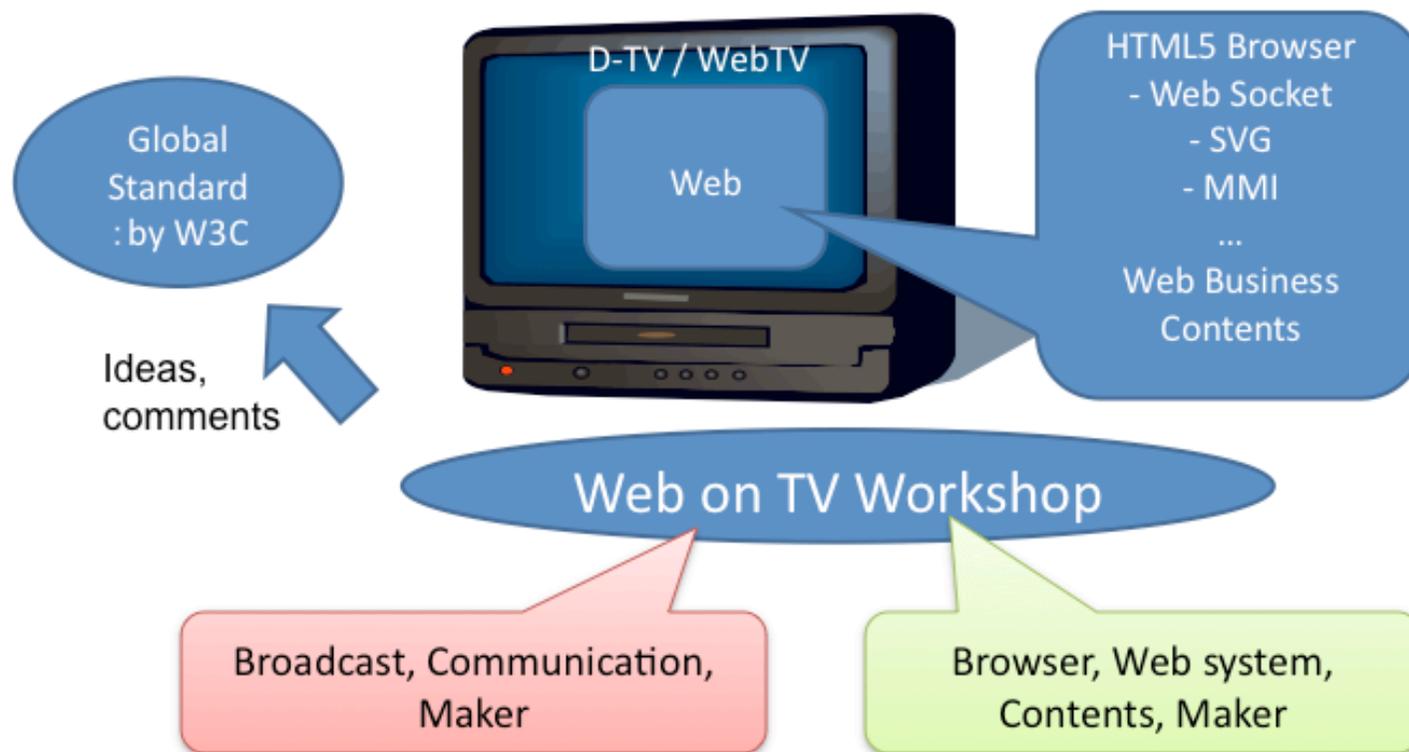
- 番組のデータ放送情報を視聴者が友人に送る
(データ放送情報の再利用)
 - リモコン操作によりTV画面からネットワーク上のアドレス帳にアクセス、その中から興味を持ちそうな友人を選んで、番組情報（データ放送コンテンツやコンテンツのURL）を友人の携帯電話に送信



- 同じ番組を視聴しながらTV画面を使ってチャットする
 - TV番組視聴中に、ネットワーク上に置かれた視聴者のアドレス帳にアクセスし、友人のプレゼンス情報（工作中、在宅等の友人の状態）をチェック
 - リモコン操作によりTV画面から友人を番組のチャットに招待
 - 同一番組を視聴しながら、友人とTV画面上でチャット
- 番組に対して「つぶやく」

Web on TV Workshop 開催

- ・ 日時：2010年9月2日・3日 9:00～18:00
- ・ 場所：慶應義塾大学三田キャンパス



<http://www.w3.org/2010/09/web-on-tv/cfp.html>

Web on TV Workshop 開催

- 日時：2010年9月2日・3日 9:00～18:00
- 場所：慶應義塾大学三田キャンパス
- 組織委員会
 - 委員長：一色正男
 - 委員：
Deborh Dahl, Michael Smith, 芦村和幸
- 主催：W3C/Keio
- 後援：総務省 国際標準規格課
- 運営：HTML5, Device APIs and MMI Architecture
等の各Working Group
- スコープ：HTML5, Device APIs and MMI Architecture ほか
- 目標：活用事例と基本要件の洗い出し、仕様提案につなげる

参加者募集！日本が世界に先駆けて運用してきた
サービスをガラパコス化させず、
世界に発信していきましょう！！

これからのW3Cの情報発信

- W3C横浜フォーラム
 - 7月30日（金）17:30～ @横浜ランドマークタワー
 - 内容：
 - 開会のご挨拶～ウェブ標準の重要性とW3Cの活動～
W3C/Keio サイトマネージャー 一色正男
 - (仮題) Opera の取組みと未来への期待
Opera Software International AS
ウェブエバンジェリスト ダニエル・デイビス
 - jig.jpの取組み 株式会社 jig.jp
プラットフォーム開発部 マネージャー 小俣 博司
 - もっと便利なWebのために -音声/マルチモーダル技術とTV応用-
W3C/Keio 慶應義塾大学大学院講師 芦村 和幸
 - W3C加入者からのメッセージ
株式会社ネクストステージ 代表取締役 社長 宮下貴弘 など
 - 参加お申込みは web2010@nextstage-inc.com 宛に1)社名、2)参加者名(会場スペースの都合上1社につき最大2名のご参加に限らせていただきます)、3)ご連絡先電話番号、4)ご連絡先メールアドレスを明記の上、7月21日（水）18時までにエントリーください。
※先着順の受付でございます。参加の可否は後日ご連絡差し上げます。

これからのW3Cの情報発信

- ブロードバンド&グローバル戦略特別セミナー
【W3C最新動向と次世代WEB標準の未来】
HTML 5 の衝撃
- 日時：2010年8月2日(月)午後2時～午後5時
- S S K セミナールーム(東京・新橋)
- 内容：
 - <1>「HTML 5への進化」を考える
一色 正男 W3Cサイトマネージャ
 - <2>Opera社の取組みと未来への期待
Opera Software ウェブ エヴァン
ジェリスト ダニエル デイビス 氏
 - <3>HTML 5が拓く次世代Webの可能性
(有) futomi 代表取締役
羽田野 太巳 (はたの ふとみ)氏
- http://www.ssk21.co.jp/seminar/S_10269.html

これからのW3Cの情報発信

- ・ 情報通信総合研究所次世代サービス共創フォーラム
ワークショップ 「標準が創る次世代Web ～オープ
ンプラットフォームで実現するモバイル/TV/ホーム
ネットワークなど～」
- ・ 日時：2010年11月10日(木) 15:30～16:45
- ・ 会場：大手町NEXUS(10Fホールーム)
- ・ 内容：
 - － 本セミナーでは、W3Cが定める場であるW3C/
Keio Site Managerにて公開し、W3Cの基本的
情報に加え、HTML5の最新情報、W3Cが実現する次世代
Webの姿をご案内いたします。Web利用のスタイルが
モバイル、TVからホームネットワークにまで広がりゆくトレ
ンドの中で企画されるW3CのモバイルTVワークショップの動きにつ
いてもご紹介いたします。
- ・ [http://www.ngs-forum.jp/event/seminar/
detail.php?cno=3&sub_cno=65](http://www.ngs-forum.jp/event/seminar/detail.php?cno=3&sub_cno=65)

職員御礼

ありがとうございました。

Keio-contact@w3.org
<http://www.w3.org>